

「にっこり安心プラン（第7次宇都宮市高齢者保健福祉計画・第6期宇都宮市介護保険事業計画）」の進捗状況について

◎ 趣旨

「にっこり安心プラン（第7次宇都宮市高齢者保健福祉計画・第6期宇都宮市介護保険事業計画）」（計画期間：平成27～29年度）における、今年度の進捗状況を取りまとめたことから、その内容について報告するもの

1 「にっこり安心プラン（第7次宇都宮市高齢者保健福祉計画・第6期宇都宮市介護保険事業計画）」の進行管理について・・・**参考資料**

- ・ にっこり安心プランにおける施策・事業のうち、特に重要なものについては、進捗状況などを的確に把握し、総合的・効果的な執行を確保するため「成果指標対象事業」「主要事業」として選定し、「社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会」において、定期的に進捗状況を検証・評価いただくこととしていることから、今年度の「成果指標対象事業」「主要事業」の進捗状況について次の区分により評価をとりまとめ、報告する。

○ にっこり安心プランにおける事業評価区分

評価区分	進捗状況
A：順調に進んでいる	90%以上
B：概ね順調に進んでいる	70～90%
C：やや遅れている	70%未満

2 基本目標別の取組状況

(1) 基本目標1「みんながつながり、支えあう地域社会の実現」

ア 取組状況 【◎…成果指標対象事業】

事業番号	【上段】事業名 【下段】成果指標	27年度 実績値	28年度 目標値	28年度 見込値	28年度 目標値に 対する 進捗(%)	評価	29年度 目標値
◎	地域会議などを活用した地域ネットワークの充実						
1	地域包括支援センターの認知度 (65歳以上高齢者)(%)	—	—	—	—	—	80.0
3	ボランティア養成講座等の充実						
	ボランティア養成講座等参加者数(人)	1,347	2,190	1,790	81.7	B	2,355
19	消費生活情報の提供の充実 (地域包括支援センターなどと連携した消費生活情報の提供)						
	出前講座開催回数(回)	111	115	115	100.0	A	120
	出前講座出席者数(人)	4,302	4,400	4,012	91.2		4,500
20	ひとり暮らし高齢者等安心ネットワークシステムの推進						
	見守り活動会議を開催した単位自治会の割合(%)	71.0	71.2	74.7	104.9	A	73.0
	安否確認実施回数(回)	960	1,000	791	79.1		980
21	災害時要援護者支援事業の実施						
	支援班設置地区における台帳共有化率(%)	80.0	95.3	78.0	81.8	B	100.0

※ 地域包括支援センターの認知度については、計画策定時に調査を行う。

イ 今年度の取組に対する評価

- ・ ひとり暮らし高齢者等が住み慣れた地域の中で安心して生活できるよう、地域における見守り活動と公的な福祉サービスを一体的に組み合わせた安否確認を実施する事業として「ひとり暮らし高齢者等安心ネットワークシステム」に取り組んでいるところであり、ひとり暮らしの高齢者等の見守り活動会議を開催した単位自治会の割合は平成28年度の目標値を上回っており、地域における見守り体制が機能している。
- ・ 高齢化のさらなる進行が見込まれる中、豊富な知識や経験を持った高齢者が自らの経験を活かしながら活躍できる機会や環境が重要となることから、「ボランティア養成講座」や「消費生活情報の出前講座」等に着実に取り組んでいる。
- ・ 目標1については、おおむね順調な進捗となっている。

(2) 基本目標 2 「健康で生きがいのある豊かな生活の実現」

ア 取組状況 【◎…成果指標対象事業】

事業番号	【上段】事業名 【下段】成果指標	27年度実績値	28年度目標値	28年度見込値	28年度目標値に対する進捗(%)	評価	29年度目標値
健康づくり実践活動の促進							
29	(健康づくり推進員・食生活改善推進員と連携した地域主体の健康づくりの促進)						
	健康づくり推進員養成者数(人)	1,353	1,470	1,406	95.6	A	1,550
◎ 地域での介護予防活動への支援							
40	(介護予防の自主活動グループに対する専門職の派遣による支援)						
	自主活動グループ数(グループ)	148	170	165	97.1	A	190
老人クラブ活動の育成・支援							
43	単位老人クラブ数(クラブ)	324	341	325	95.3	A	343
	老人クラブ会員数(人)	18,739	19,700	18,506	93.9		19,900
◎ 高齢者等地域活動支援ポイント事業の本格実施							
44	参加者数(人)	8,795	8,500	11,779	138.6	A	10,000
みやシニア活動センター事業の推進							
52	(高齢者のライフスタイルに合わせた情報提供や講座等の実施)						
	みやシニア活動センター利用者数(人)	5,663	6,000	6,582	109.7	A	6,800

イ 今年度の取組に対する評価

- ・ 「地域での介護予防活動への支援」については、高齢者の介護予防活動を通じ、健康寿命の延伸に繋がるよう、地域で介護予防に取り組む自主活動グループへの支援に取り組んでおり、対象となる「自主活動グループ数」については着実に増加している。
- ・ 高齢者が地域貢献活動等に参加することを通じて、社会参加、健康づくり、生きがいづくりの促進に繋がるよう、平成27年度から「高齢者等地域活動支援ポイント事業」を本格実施したところであり、事業の参加者は1万人を超え、目標値を大きく上回る状況となっている。
- ・ 目標2については、順調な進捗となっている。

(3) 基本目標3 「いつまでも自分らしさを持ち、自立した生活の実現」

ア 取組状況 【◎…成果指標対象事業】

事業番号	【上段】事業名 【下段】成果指標	27年度実績値	28年度目標値	28年度見込値	28年度目標値に対する進捗(%)	評価	29年度目標値
66	家族介護教室の開催						
	開催回数(回)	55	58	57	98.3	A	58
◎ 70	認知症サポーター等の養成・支援の推進 (企業や小・中学校など多様な場での講座の実施)						
	認知症サポーター数(累計・人)	24,900	23,000	28,600	124.3	A	25,000
71	認知症初期集中支援チームの設置に向けた取組 (「認知症疾患医療センター」との連携による検討)						
	認知症初期集中支援チーム数(チーム)	—	—	—	—	—	1
72	認知症支援医療・介護従事者合同研修会の開催・支援						
	研修会参加者数(人)	87	200	75	37.5	C	200
77	認知症サロン(オレンジサロン)の推進						
	認知症サロン設置箇所数(箇所)	3	3	3	100.0	A	3
79	権利擁護事業の推進(法人後見の推進, 担い手育成)						
	地域における虐待防止のための普及啓発活動(回)	39	39	39	100.0	A	39

イ 今年度の取組に対する評価

- ・ 今後さらなる高齢化の進行が見込まれる中、認知症高齢者の増加も見込まれることから、認知症の高齢者やその家族が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、認知症対策に取り組んでおり、その一環として「認知症サポーター養成講座」を企業や学校など多様な場で開催しており、本計画の成果指標である「認知症サポーター数」の今年度の実績見込みは目標値を大きく上回り、約2万8千人となっている。
- ・ 医療・介護・福祉が連携したケア体制の充実に向けた取組として、「認知症支援医療・介護従事者合同研修会」の開催や、平成30年度の「認知症初期集中支援チーム」の設置に向けた検討に取り組み、「研修会」の参加者数については、27年度実績を下回っているが、研修内容は医療・介護・福祉の従事者の資質向上につながるものであり、事業を着実に進めている。
- ・ 目標3については、おおむね順調な進捗となっている。

(4) 基本目標4「介護サービスの利用を通じた笑顔あふれる社会の実現」

ア 取組状況 【◎…成果指標対象事業】

事業番号	【上段】事業名 【下段】成果指標	27年度実績値	28年度目標値	28年度見込値	28年度目標値に対する進捗(%)	評価	29年度目標値
◎ ケアプランに対する助言・指導の実施							
83	ケアプラン点検数(件)	362	360	375	104.2	A	360
◎ 介護従事者等の資質の向上							
84	研修開催回数(回)	9	9	9	100.0	A	9
介護保険事業の情報提供							
87	介護保険の手引き作成部数(部)	12,000	12,000	12,000	100.0	A	12,000
地域療養支援体制の整備(「地域療養支援体制検討会議」を活用した「退院支援」や「24時間365日の在宅療養支援」に向けた検討)							
91	在宅医療提供体制の構築に向けた検討組織の設置数(組織)	6	7	7	100.0	A	7

イ 今年度の取組に対する評価

- ・ 介護を必要とする高齢者の状態に応じたサービスが適切に提供されるよう、介護サービスの質の向上に向けたケアプランの点検や、介護従事者の資質向上に向けた研修会を開催している。
- ・ 重度な要介護状態となっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療機関と介護サービス事業者等の連携を推進し、在宅医療と介護サービスを一体的に提供するため、情報共有する項目や情報提供の時期等を明確にした「退院支援ルール」の本格運用を平成28年6月に開始したほか、医療・介護従事者が活用する「医療・介護施設のデータベース(地域連携データベース)」の平成29年3月の運用開始に向け、検討会議で検討を進めている。また、「24時間365日の在宅療養支援」に向け、複数の医師が相互に協力し在宅医療を担う「主治医・副主治医制」の導入について、宇都宮市医師会等と検討を進めている。
- ・ 基本目標4については、順調な進捗となっている。

(5) 全体評価

高齢者が健康で生きがいを持ち、安心して自立した生活を送ることができるよう、4つの基本目標を設定し、各種施策・事業に取り組んでいるところであり、これら事業の柱となる「成果指標対象事業」や「主要事業」については、平成29年度の目標値に対し、順調に進捗していることから、計画全体が順調に進捗しているものと評価する。

3 今後の取組について

□ 基本目標1「みんながつながり、支えあう地域社会の実現」

高齢者やその家族が地域の支えあいのもと、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、引き続き、地域の中核的な機関である地域包括支援センターがNPOをはじめとする多様な担い手と連携・協力しながら、高齢者の必要とする生活支援サービスが提供されるよう、平成29年度から「介護予防・日常生活支援総合事業」に取り組む。

□ 基本目標2「健康で生きがいのある豊かな生活の実現」

高齢者がいつまでも健康で生きがいを持って暮らすことができるよう、自ら介護予防や健康づくり、社会参加活動に取り組むことにより健康寿命の延伸を図ることが重要となることから、引き続き、地域で介護予防に取り組む自主グループへの支援に取り組むほか、高齢者の健康づくりや生きがいづくりの促進に向け、「高齢者等地域活動支援ポイント事業」に取り組んでいく。

□ 基本目標3「いつまでも自分らしさを持ち、自立した生活の実現」

認知症の人やその家族が住み慣れた地域で安心して自分らしく自立した暮らしを続けることができるよう、認知症に対する正しい理解に向けた周知啓発や、医療・介護・福祉が連携したケア体制の充実に向けた取組を進める必要があることから、引き続き、認知症サポーターの養成や認知症初期集中支援チームの設置に向けた取組を進めていく。

□ 基本目標4「介護サービスの利用を通じた笑顔あふれる社会の実現」

介護を必要とする高齢者が必要なサービスを適切に受けることができるよう、より質の高いサービスの提供に向け、引き続き、介護従事者の資質向上に向けた研修会を開催するほか、在宅医療・介護の連携を進め、地域医療や在宅介護サービスの充実に向けた取組を推進していく。